

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

人でのぎわう、安全で快適な都市空間の創生

岡山市

令和5年2月

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	人でにぎわう、安全で快適な都市空間の創生												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	岡山市												
計画の目標	自転車の利用環境や他の交通機関への乗り換え環境を整えることにより、自転車と公共交通が主体の交通システムを実現させ、人でにぎわう、安全で快適な都市空間を創生する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	566	A	558	B	0	C	8	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.41	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(R3末)
1	市内の全事故件数(平成26年度 5,678件)に占める自転車関連事故件数(平成26年度 1,110件)の割合を16.5%に減少 岡山市内において発生する全事故件数に占める自転車関連事故の割合を調査する (平成32年度の市内自転車関連事故件数/平成32年度の市内全事故件数)×100(%)	20%	%	17%
2	自転車利用環境に関する市民満足度を50%に向上 市中心部の自転車利用に関わる満足度について、市民アンケートにより調査	10%	%	50%
3	市道錦町古京町線(県庁通り)における歩行者交通量(平成28年度 休日9h 4,236人)を4割増加 市道錦町古京町線(県庁通り)における歩行者交通量(休日9h)を調査する	4236人	人	6000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	都道府	交安	主要地方道岡山停車場線	自転車走行空間整備 L=1,000m	岡山市	■	■	■			204	—			
	A01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	岡山総社自転車道線ほか12路線	自転車走行空間整備 L=35,200m	岡山市		■	■	■	■		111	—		
	A01-003	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	岡山駅高架下第2自転車等駐車場ほか6箇所	自転車等駐車場整備 7箇所	岡山市		■	■	■	■		63	—		
A01-004	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	市道錦町古京町線(県庁通り)	歩道拡幅ほか整備 L=290m	岡山市				■			180	—			
											小計							558			
											合計							558			



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 岡山市において当該社会資本整備計画関係課により事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年2月
	公表の方法 岡山市HPに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの自転車利用者が通行する市中心部の「重点エリア」における自転車走行空間の整備に合わせて、関係機関と連携し、自転車の通行位置や進行方向等のルールやマナーの周知を図ることで、市内の自転車関連事故件数の減少に寄与した。</li> <li>自転車走行空間や駐輪場の整備、コミュニティサイクルの充実等を図ることで、自転車利用環境に関する満足度が向上した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年3月に策定した「岡山市自転車活用推進計画」に基づき、自転車利用環境に係る各種施策に取り組み、自転車利用環境の向上を図る。</li> <li>自転車利用者が安全で快適に通行できる自転車走行空間のネットワーク化を推進するため、本市中心部の「重点エリア」と並行して、重点エリアにアクセスする「都心アクセス軸」や「郊外スポット部」においても、自転車走行空間の整備を着実に推進する。</li> </ul>
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	17%	市内の全事故件数（H26年度5,678件）に占める自転車関連事故件数（H26年度1,110件）の割合を16.5%に減少 自転車走行空間の整備と合わせて、関係機関と連携し、自転車の通行ルールやマナーの周知等に取り組むことで、自転車関連事故件数の減少に一定の効果があり、自転車関連事故件数は目標値に達したが、全事故件数が予想を大幅に超えて減少したため、「市内の全事故件数に占める自転車関連事故件数の割合」については、目標値に達しなかったものと考えられる。引き続き、関係機関と連携し、誰もが安全で安心して自転車を利用できる環境整備に努める。
	最終実績値	24%	
2	自転車利用環境に関する市民満足度を50%に向上		自転車走行空間や駐輪場の整備、コミュニティサイクルの充実等を図ることで、満足度の向上には一定の効果がみられたものの、十分な効果とは言えないと考えられる。
	最終目標値	50%	
3	最終目標値	6000人	市道錦町古京町線（県庁通り）における歩行者交通量（平成28年度 休日9h 4,236人）を4割増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、歩行者の交通量が減少していることが要因だと考えられる。
	最終実績値	3963人	